



経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」

第四次産業革命スキル習得講座認定制度（通称「Reスキル講座」）は、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度です。



厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」

働く方の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）、または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定額（上限あり）をハローワークから支給する制度です。

令和2年度

第4次産業革命 エグゼクティブ ビジネススクール

【中小ものづくり経営者向け】

人手不足を乗り越え「業務革新」「事業成長」「技術継承」を実現するために

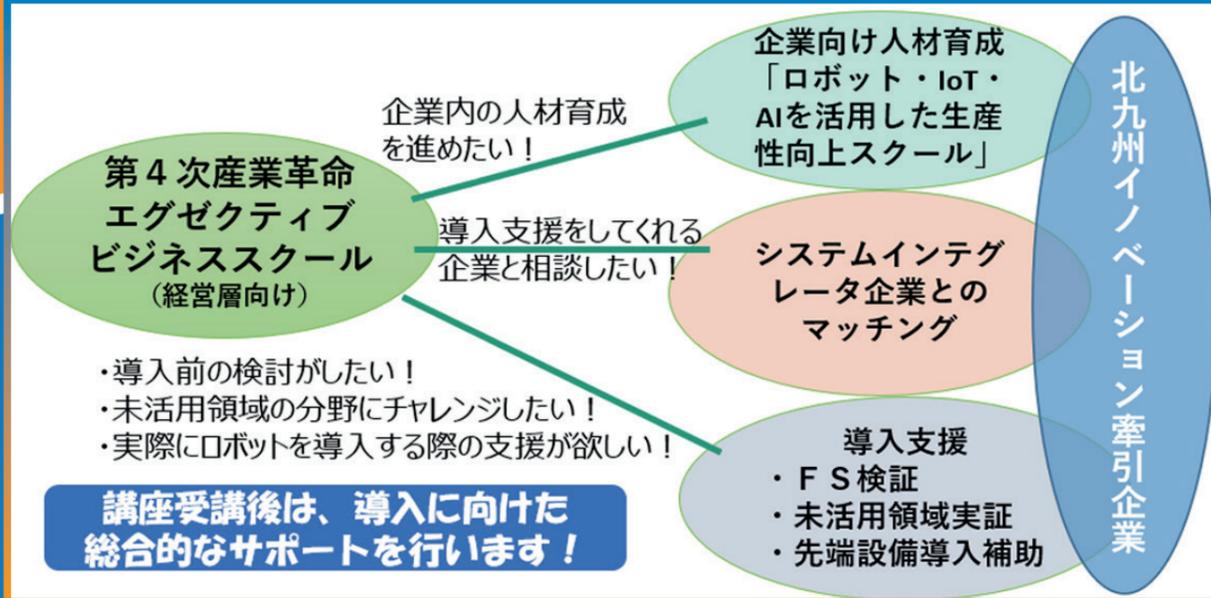


第4次産業革命への対応力を経営トップ自ら検討できる、日本で唯一のビジネススクール。

本スクールのポイント

- 》 経済産業省「産学連携デジタルものづくり中核人材育成事業」で開発したカリキュラムに基づくスクールです。
- 》 「小説 第4次産業革命」の著者を講師に迎え、第4次産業革命への変革対応に経営トップが納得できる特別講座を開催します。
- 》 本邦初！国際標準の業務を体感的に学習できるエグゼクティブ・ビジネススクールです。
- 》 自社の業務革新・事業成長・技術継承の実現のために、またグローバル市場への展開と円滑な業務運営の能力構築を図りたいという中小企業を応援します。
- 》 「Withコロナ」や「Afterコロナ」における、製造業デジタルトランスフォーメーションのポイントを学べます。

北九州市における導入支援策



本ビジネススクールの紹介をしています。昨年度の講座も、多くの経営層の方に参加していただきました。「第4次産業革命の本質が理解できた。」など、たくさんのお声をいただいております。ぜひご覧ください。



北九州高専 第4次産業革命エグゼクティブビジネススクール

検索



北九州工業高等専門学校
〒802-0985 北九州市小倉南区志井五丁目20番1号
TEL & FAX: 093-964-7259 Email: business_school@apps.kct.ac.jp
https://www.kct.ac.jp/kigyou/business_school.html



受講者募集

受講対象
経営者及び経営幹部層
あるいは次世代の経営を担う人材
定員30名

令和2年10月17日(土)~令和3年2月27日(土)

主催 北九州工業高等専門学校

共催 早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北九州市

後援 九州経済産業局、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(公財)北九州産業学術推進機構、北九州商工会議所、株式会社野村総合研究所、大分工業高等専門学校、熊本高等専門学校、佐世保工業高等専門学校、鹿児島工業高等専門学校

協力 アラスジャパン合同会社、株式会社ウェブアイ、ダッソー・システムズ株式会社、ビジネスエンジニアリング株式会社、PTCジャパン株式会社、株式会社スタディスト、ミシマ・オーエー・システム株式会社

委託先 (公財)九州経済調査協会

第4次産業革命の中で「人手不足」を乗り越え、「業務革新」「事業成長」「技術継承」を実現する。

内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業において、全国で唯一、ロボット分野で採択された北九州市では、地域の中小ものづくり企業の生産性革命に向けて産業用ロボットを始めとした第4次産業革命に関する先端技術の導入支援を加速しています。

その一環として、2018年度、北九州工業高等専門学校及び早稲田大学大学院情報生産システム研究科をはじめとした産学官連携チームでカリキュラムを開発しました。このカリキュラムは、経営層向けのカリキュラムで、第4次産業革命に対する経営者の理解、国際基準に準拠した生産管理知識の定着、海外工場で戦力となる人材育成、ならびに中小企業の生産性向上のため、中小製造業のバリューチェーンの高度化・業務革新を推進するものです。プログラムは第4次産業革命による企業変革の考え方や、中小企業の経営管理業務を体系立てたものになっています。

特別講座では、「小説 第4次産業革命」の著者を講師に迎え、産業のデジタル化などの大きな環境変化の中で、わが国の地域中小製造業の事業機会や脅威をどう考え、どう適応していけばよいのか、ビジネススクール形式での議論を行い、理解を深めていただきます。

業務革新・事業成長・技術継承の実現をめざす地域製造業の企業経営層の方々にぜひ参加していただきたいプログラムとなっております。

Speakers

 <p>藤野 直明 野村総合研究所 主席研究員</p> <p>早稲田大学理工学部物理学科(理論物理学)卒業。ロボット革命イニシアチブ協議会WG1(第4次産業革命推進WG)情報マーケティングチームリーダー、日本経営工学会副会長、日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー、オペレーションズマネジメント&戦略学会理事、早稲田大学大学院情報生産システム研究科客員教授。</p>	 <p>梶野 真弘 野村総合研究所 上級コンサルタント</p> <p>東北大学大学院工学研究科博士課程前期原子核工学終了。企業への伴走型業務改革のコンサルティング、産業振興・第4次産業革命に関する調査研究・コンサルティングに従事。中小企業～大企業を含め、主要業種をカバーする250箇所以上の製造業工場を訪問。著書に「電子決済ビジネス」「企業通貨マーケティング」(共著)など。</p>	 <p>吉江 修 早稲田大学総合研究機構 産学融合国際戦略研究所所長 早稲田大学系属早稲田佐賀中学校・高等学校長</p> <p>早稲田大学大学院工学研究科博士課程前期退学。ドイツ国立情報研究所(現フラウンホーファー研究所)招聘科学者、米国FX Palo Alto Laboratory訪問研究者を歴任。電気学会業績賞、日本経営工学会経営システム賞など受賞多数。専門は知能情報学。電気学会フェロー。工学博士。</p>	 <p>久池井 茂 国立高等専門学校機構推進・産学連携本部員 北九州工業高等専門学校生産デザイン工学科 知能ロボットシステムコース教授</p> <p>九州工業大学大学院博士後期課程単位取得退学、博士(工学)。日本医療機器学会論文賞受賞、国立高等専門学校機構理事長賞ほか。主にロボット・AI・IoTを活用した生産システムの研究開発に従事。本カリキュラムの作成では中心的な役割を担う。アイデア対決・高等専門学校ロボットコンテスト指導教員(全国優勝3回)。</p>
---	--	---	--

早稲田大学大学院 教授 藤村 茂	熊本高等専門学校 教授 田中 禎一	鹿児島工業高等専門学校 教授 島名 賢児
大分工業高等専門学校 准教授 尾形 公一郎	佐世保工業高等専門学校 准教授 柳生 義人	北九州工業高等専門学校 技術専門職員 宮元 章

協力企業



申し込み方法
申込書をFAXでお送りいただくか、電子メールで送信ください。受講者の方には、講座によって事前課題があります。事前・事後のアンケートへのご協力をお願いすることがあります。

申し込み締切
特別講座2020年10月2日(金)まで / 本講座2020年11月6日(金)まで

TEL & FAX : 093-964-7259
〒802-0985 北九州市小倉南区志井五丁目20番1号
Email: business_school@apps.kct.ac.jp
https://www.kct.ac.jp/kigyou/business_school.html

受講料	特別講座のみ	特別講座+本講座	本講座のみ
(北九州市内企業)	5万円	12万円	7万円
(北九州市外企業)	10万円	24万円	14万円

独立行政法人国立高等専門学校機構
北九州工業高等専門学校
(担当：第4次産業革命エグゼクティブビジネススクール事務局)



『小説 第4次産業革命 日本の製造業を救え！』
日経BP社

特別講座の講師による著書。国内250箇所を超える工場を訪ね歩いてきた製造業コンサルタントである著書だが、危機感の乏しい日本企業に警鐘を鳴らす本邦初の理系ビジネス小説。

Program

No.	日程	科目	内容	講師	講師プロフィール	協力企業
特別講座	令和2年 10/17(土)・24(土) [1日目]9:00~20:00 [2日目]18:00~17:00	DX・第4次産業革命の機会と脅威	第4次産業革命について、特に地域の中小ものづくり企業の立場から見た事業の機会と脅威をわかりやすく理解する。講義の方法は「小説 第4次産業革命 日本の製造業を救え！」をケーススタディとして、事前課題の検討と、グループワークのディスカッション形式で行う。	藤野 直明 梶野 真弘	野村総合研究所 主席研究員 野村総合研究所 上級コンサルタント	ウェブアイ 森川 勇治 スタディスト 鈴木 悟史
講座①	令和2年 11/13(金)~14(土) [1日目]13:00~19:00 [2日目]9:00~18:00	IoT、第4次産業革命の全体像	ものづくりにおけるIoTが、単なる現場のICT(情報通信技術)化とは異なることを理解する。第4次産業革命で中心的な役割を果たすサイバーフィジカルシステム(Cyber Physical Systems: CPS)が各種技術の進展により、実用段階に入ったことを確認する。	吉江 修	早稲田大学大学院 教授	PTCジャパン 後藤 智 坪根 意茂
講座②	令和2年 11/20(金)~21(土) [1日目]13:00~19:00 [2日目]9:00~18:00	受注管理業務	グローバルな市場の中で企業がものづくりを行って効果的に収益を得る上で、重要となる受注管理業務の方法論を整理する。また、迅速な納期回答と納期短縮を実現するため、オーダーを生産計画に組み入れ、再スケジューリングを行う納期回答の効果学ぶ。	尾形 公一郎 柳生 義人	大分工業高等専門学校 准教授 佐世保工業高等専門学校 准教授	ビジネスエンジニアリング 山本 圭一
講座③	令和3年 1/22(金)~23(土) [1日目]13:00~19:00 [2日目]9:00~18:00	設計業務の効率化、製造実行管理、品質管理	受注管理業務を精度高く実現するには、工程別の生産指図、実績をきめ細かく行うことが重要である。実績把握にはIoTやMES/MOM等の第4次産業革命関連ツールが極めて有効である。品質管理プロセスにおける暗黙知の形式知化、フロントローディングを学ぶ。	田中 禎一 島名 賢児	熊本高等専門学校 教授 鹿児島工業高等専門学校 教授	デジタルシステムズ 米田 尚登
講座④	令和3年 2/12(金)~13(土) [1日目]13:00~19:00 [2日目]9:00~18:00	プロジェクトスケジューリング管理	受注生産方式のものづくりにおけるプロジェクト管理の問題点を整理し、プロジェクト管理の基本的な概念を理解する。プロジェクトスケジューリングの必要性を認識し、情報システムの利用によってものづくりがどのように変化するかを体験する。	藤村 茂	早稲田大学大学院 教授	ウェブアイ 野村 将俊
講座⑤	令和3年 2/26(金)~27(土) [1日目]13:00~19:00 [2日目]9:00~18:00	製品設計、生産管理と製造現場、アフターマーケットとデータの統合管理	デジタルトランスフォーメーションにより、顧客が製品を入手後のアフターマーケットから新たなビジネスを生んでいる。この新しい潮流を理解し、DX時代のモノづくりにおけるプロダクトライフサイクルを見据えた製品戦略に必要な知識、DX化に向けて喫緊の課題であるサイバーフィジカルシステムの情報セキュリティ対策について学ぶ。	宮元 章	北九州工業高等専門学校 技術専門職員	PTCジャパン 久次 昌彦

総括・運営責任者 北九州高専 教授 久池井 茂

ものづくりにおけるデジタル領域と講座プログラムの関連図

